

資料 市民・事業者の温暖化問題への意識

(1) 市民・事業者意識調査の概要

①調査の目的

市民・事業所意識調査は、十日町市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定にあたり、市民及び事業者の地球温暖化問題に対する考え方や対策として望むこと等を明らかにし、計画に市民及び事業者の意向や視点を反映させるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

②調査対象

- ・市民意識調査・・・20歳以上の市民の中から無作為に選んだ1,000人を対象
- ・事業者意識調査・・・市内の事業所から無作為に選んだ200事業所を対象

③調査方法及び調査時期

- ・市民意識調査・・・平成28年7月28日郵送、平成28年8月10日返信期日
- ・事業者意識調査・・・平成28年8月1日郵送、平成28年8月19日返信期日

④回収結果

回収数及び回収率は以下のとおりです。

表 配布数と回収数

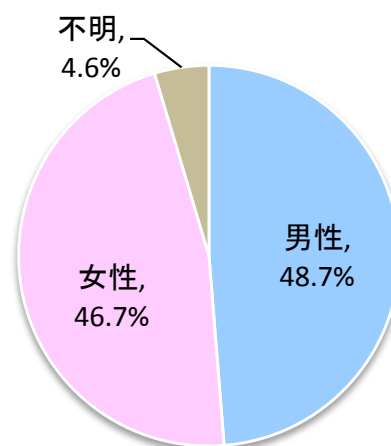
	市民	事業者
配布数	1,000人	200社
回収数	433人	105社
回収率	43.3%	52.5%

(2) 市民意識調査の結果

I：あなたご自身のことについておたずねします。

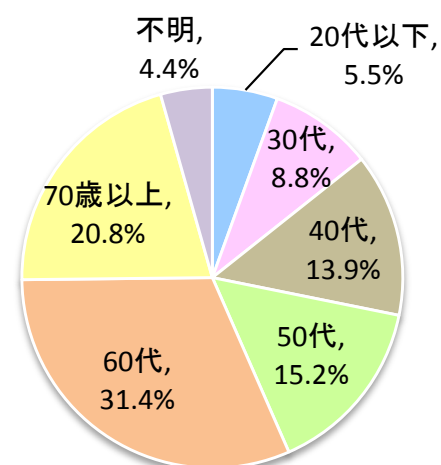
1) 性別

男女ほぼ半数となっています。



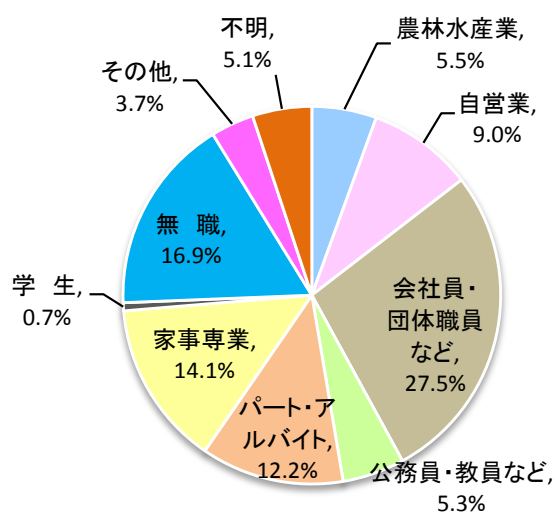
2) 年齢

最も多いのが60代、次いで70代以上となっており、反対に最も少ないのは20代以下となっています。



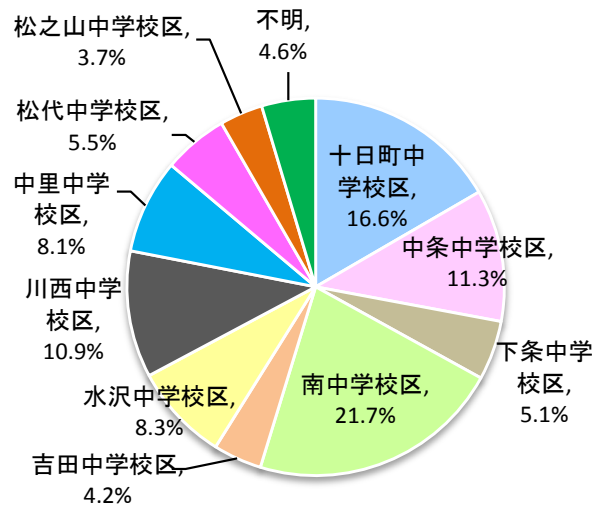
3) 職業

最も多いのが会社員・団体職員となっており、次いで無職となっています。



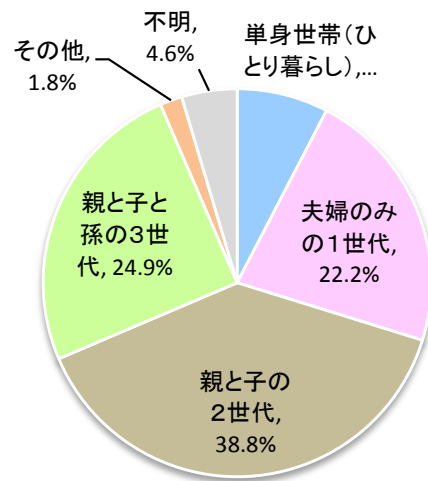
4) 居住地域

最も多いのが南中学校区となっており、次いで十日町中学校区、中条中学校区となっています。



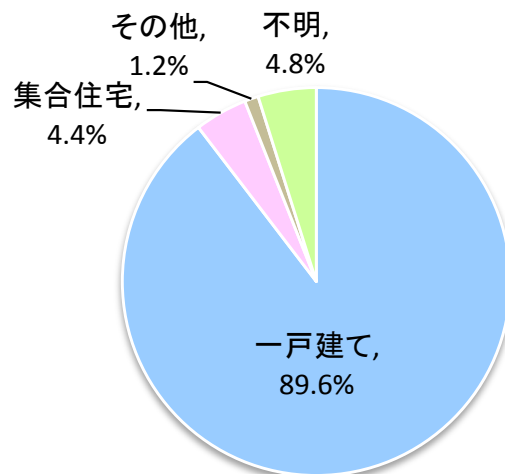
5) 家族構成

最も多いのが親と子の2世代となっており、次いで親と子と孫の3世代となっています。



6) 住宅の形態

一戸建てが全体の9割を占めています。



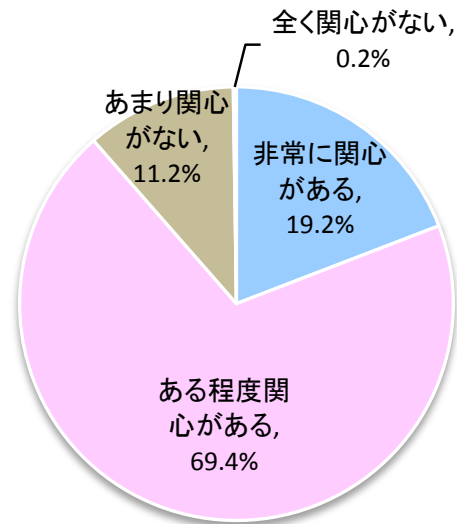
Ⅱ：あなたの「地球温暖化問題」に対するお考えについておたずねします。

1) 「地球温暖化」に対する関心度①

問 1) あなたは、「地球温暖化」に対して、どの程度関心がありますか。
最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 428 人】

- 「非常に関心がある」「ある程度関心がある」をあわせると、9割になります。

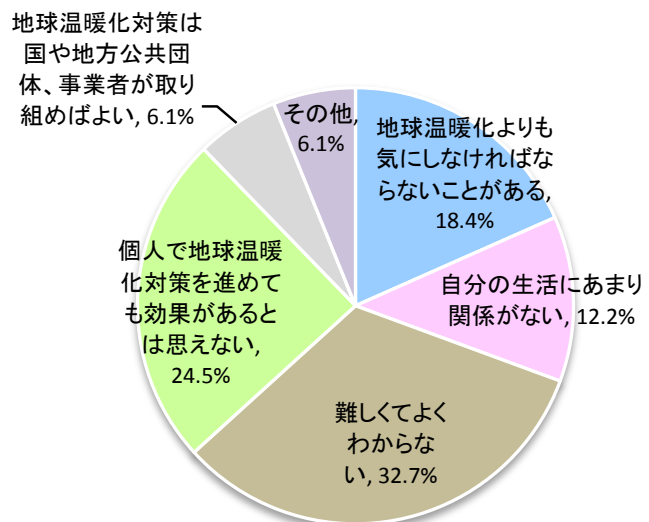


2) 「地球温暖化」に対する関心度②

問 2) 1) で「3. あまり関心がない」「4. 全く関心がない」を選んだ方のみお答えください。関心がない大きな理由は何ですか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 49 人】

- 最も多いのが「難しくよくわからない」、次いで「個人で地球温暖化対策を進めても効果があるとは思えない」となっています。

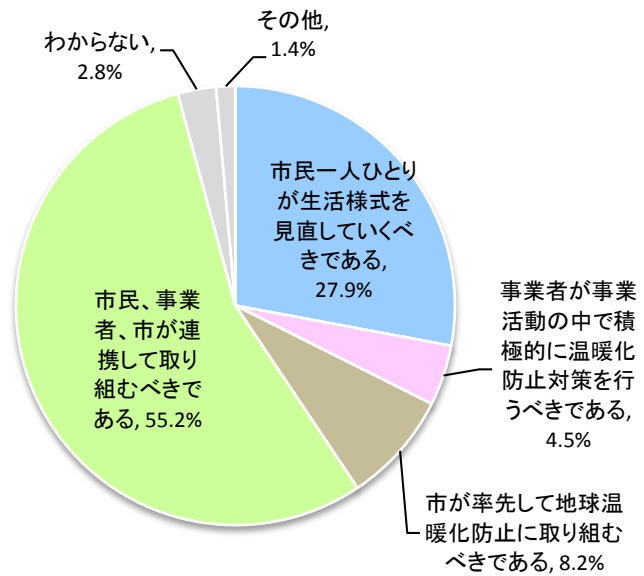


3) 温暖化防止に向けて重要な行動

問 3) 市内全域が一体となって地球温暖化防止に向けた行動を進めるために、重要と考えるものは何ですか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 426 人】

- 最も多いのが「市民、事業者、市が連携して取り組むべきである」、次いで「市民一人ひとりが生活様式を見直していくべきである」となっています。



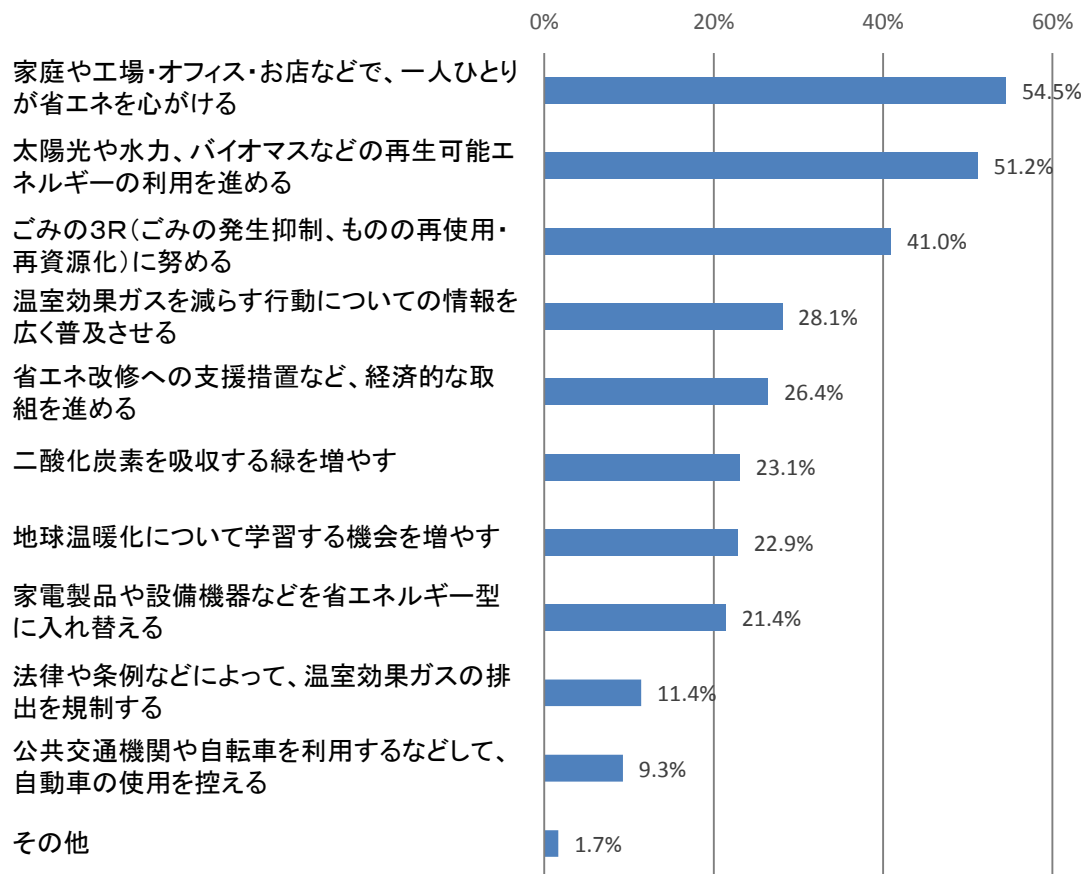
Ⅲ：あなたが考える地球温暖化対策の具体的な取組についておたずねします。

1) 温室効果ガスの排出を減らす取組

問 1) 地球温暖化防止のために温室効果ガスの排出を減らす取組として、どのような取組が必要だとお考えですか。最も必要だと考える取組の番号を3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 420 人】

- 最も多いのが「家庭や工場・オフィス・お店などで、一人ひとりが省エネを心がける」、次いで「太陽光や水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの利用を進める」「ごみの3R（ごみの発生抑制、ものの再使用・再資源化）に努める」となっています。

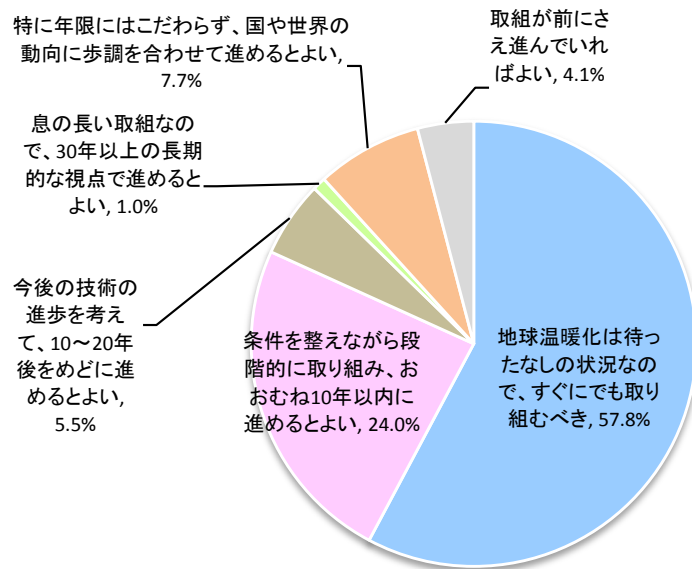


2) 温室効果ガスの排出を減らす取組を進める時期

問 2) 前問であなたが選んだ取組は、いつ頃をめぐりに進めていくのがよいとお考えですか。最も近いものの番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 417 人】

- 最も多いのが「地球温暖化は待ったなしの状況なので、すぐにでも取り組むべき」、次いで「条件を整えながら段階的に取り組み、おおむね10年以内に進めるとよい」となっています。



3) 日常における温暖化防止の取組

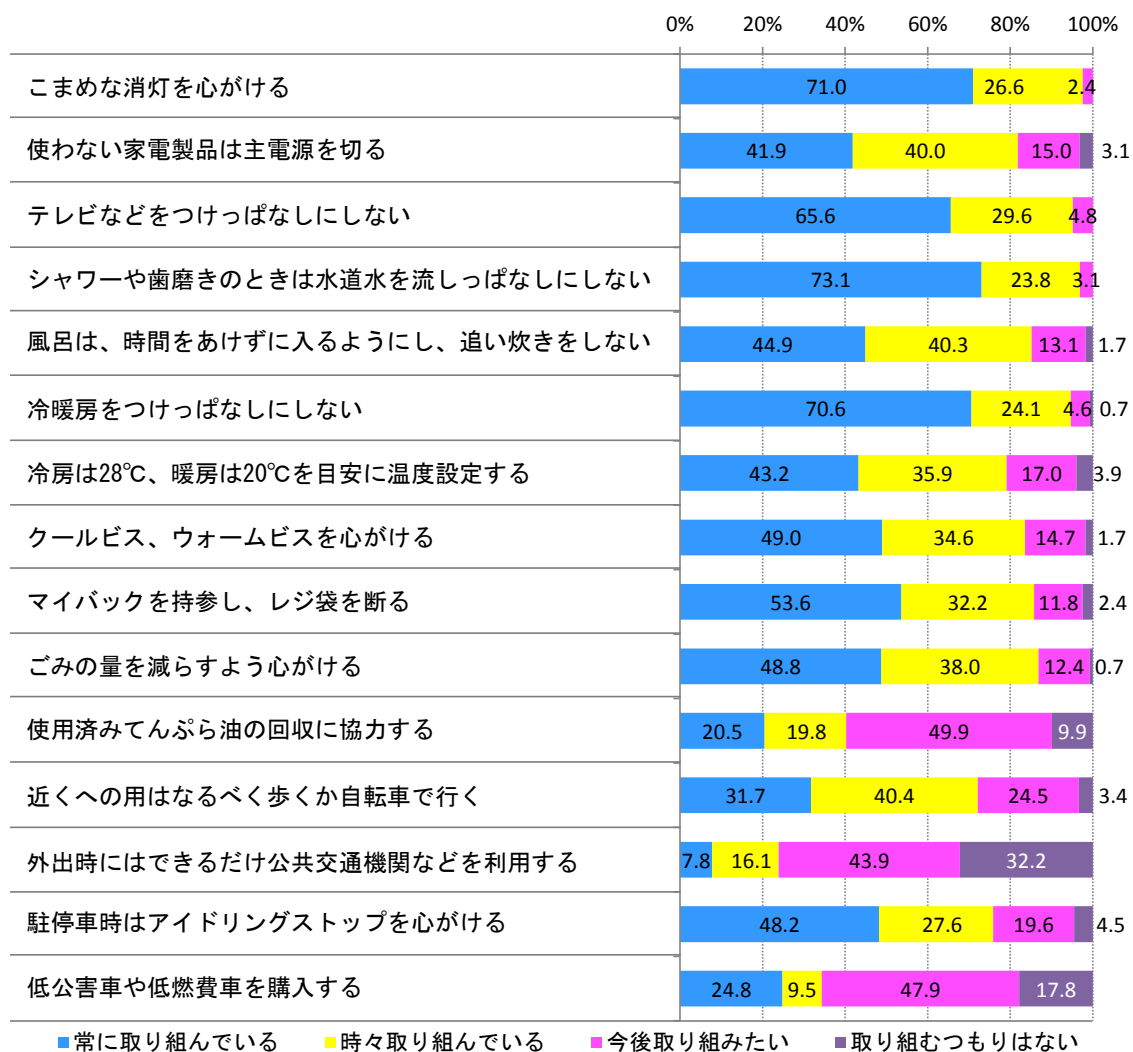
問 3) 地球温暖化防止のため、日常生活の中で取り組んでいることは何ですか。最もあてはまる番号を各項目それぞれ1つ選び、○をつけてください。また、「取り組むつもりはない」を選んだ方は、「取組を妨げる理由」を下欄から選び、番号を記入してください。

取組状況【有効回答 398～417 人（設問によって異なる）】

妨げる理由【有効回答 2～111 人（設問によって異なる）】

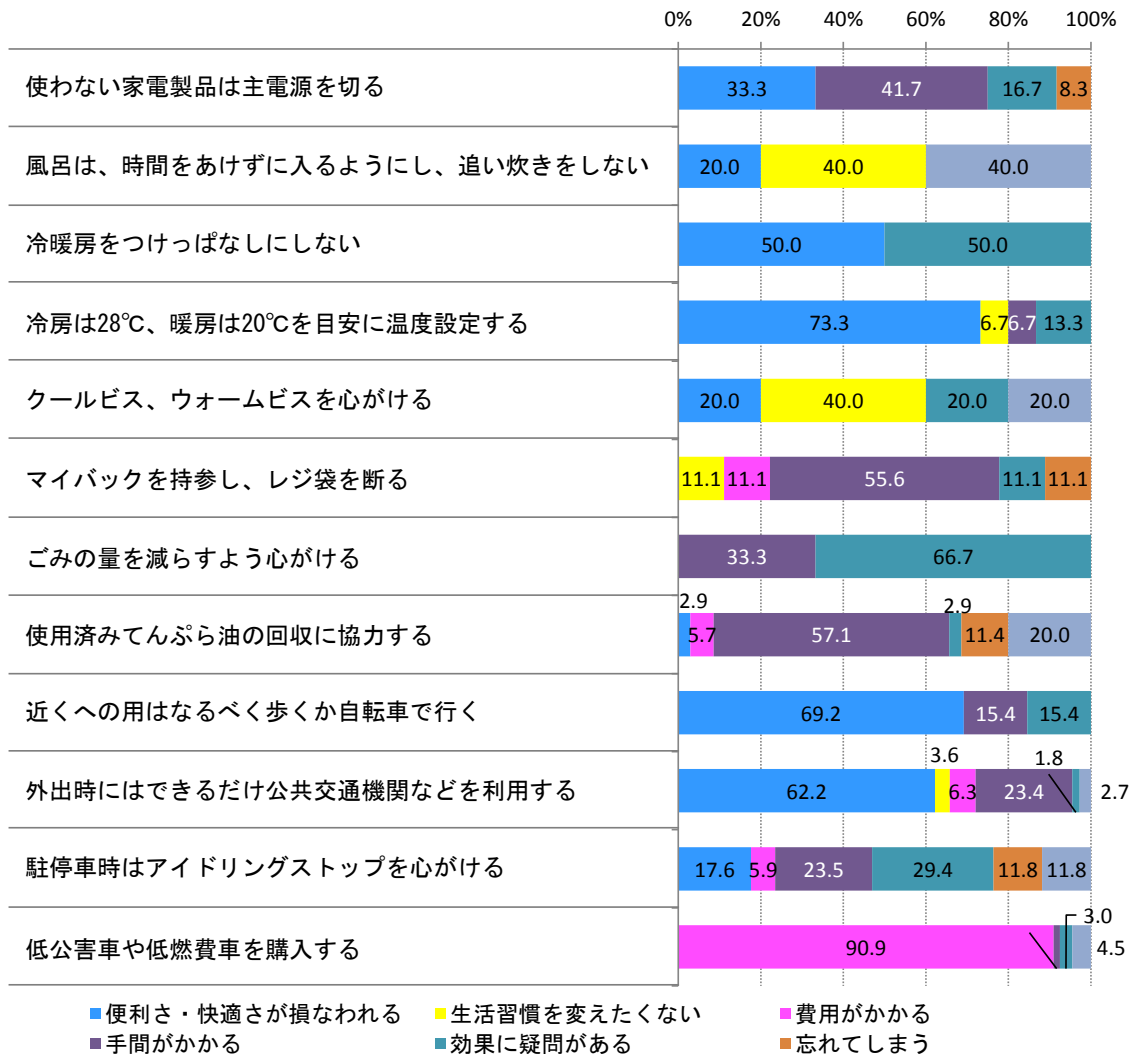
【取組状況】

- 「常に取り組んでいる」と回答した割合が6割を超えた項目は、「こまめな消灯を心がける」「テレビなどをつけっぱなしにしない」「シャワーや歯磨きのときは水道水を流しっぱなしにしない」「冷暖房をつけっぱなしにしない」でした。
- 一方で、「取り組むつもりはない」と回答した割合が3割を超えた項目は、「外出時にはできるだけ公共交通機関などを利用する」でした。



【取組を妨げる理由】

- 「便利さ・快適さが損なわれる」「手間がかかる」「効果に疑問がある」が比較的多く選ばれています。



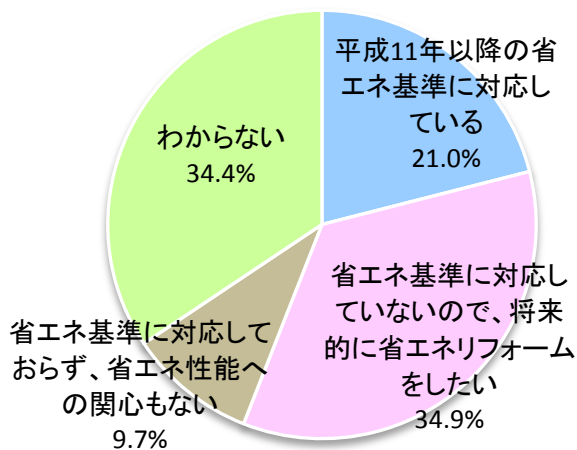
IV：お住まいの家に対するあなたのお考えについておたずねします。

1) 住居の省エネ基準対応状況

問 1) 現在、あなたがお住まいの家は、省エネ基準（断熱性、気密性、採光性、日射遮蔽、換気など）に対応していますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 352 人】

- 最も多いのが「省エネ基準に対応していないので、将来的に省エネリフォームをしたい。」、次いで「わからない」となっています。
- 一方で、最も少ないのが「省エネ基準に対応しておらず、省エネ性能への関心もない」となっています。

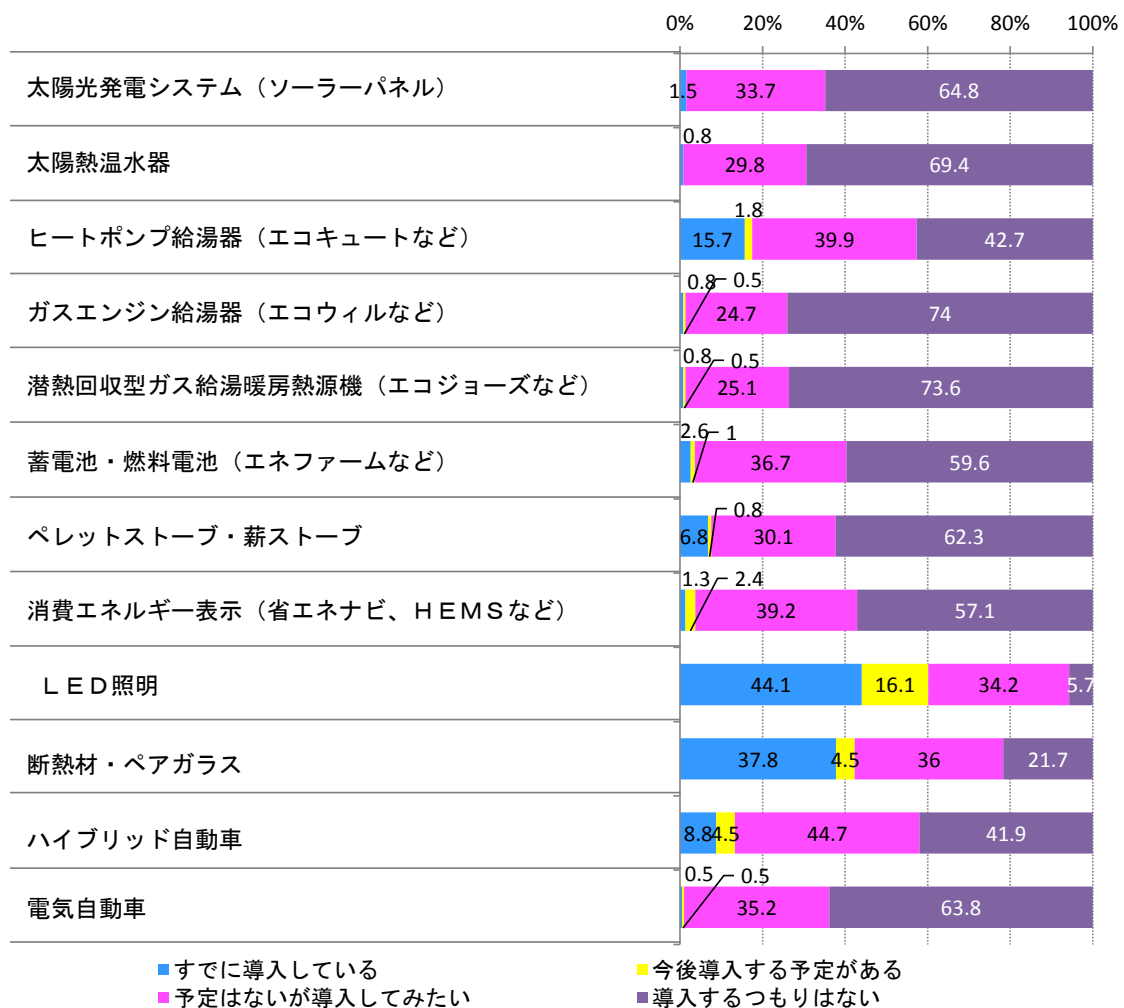


2) 再エネ・省エネ設備導入の意向

問 2) あなたがお住まいの家に、今後、省エネルギーや再生可能エネルギーを考慮した設備を導入済み、または導入する予定はありますか。それぞれの設備について、お住まいの状況に最もあてはまる番号を各項目それぞれ1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 375～404 人（設問によって異なる）】

- 「すでに導入している」と回答した割合が3割を超えた項目は、「LED照明」「断熱材・ペアガラス」となっています。
- 一方で、「導入するつもりはない」と回答した割合が7割を超えた項目は、「ガスエンジン給湯器（エコウィルなど）」「潜熱回収型ガス給湯暖房熱源機（エコジョーズなど）」となっています。



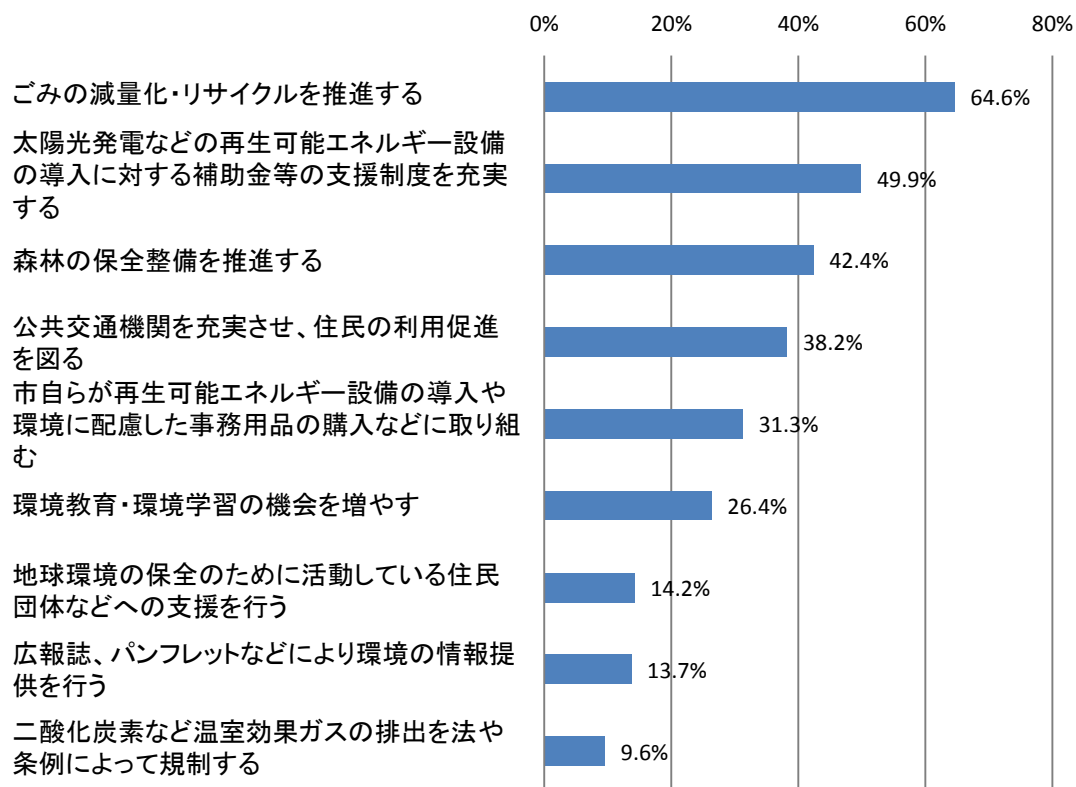
V：あなたが市や事業者に対して期待していることについておたずねします。

1) 温暖化防止に向けて十日町市に期待すること

問 1) 地球温暖化防止のために、十日町市に対して期待していることは何ですか。最もあてはまる番号を3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 387 人】

- 最も多いのが「ごみの減量化・リサイクルを推進する」、次いで「太陽光発電などの再生可能エネルギー設備の導入に対する補助金等の支援制度を充実する」「森林の保全整備を推進する」となっています。
- 一方で、最も少ないのは「二酸化炭素など温室効果ガスの排出を法や条例によって規制する」、次いで「広報誌、パンフレットなどにより環境の情報提供を行う」となっています。

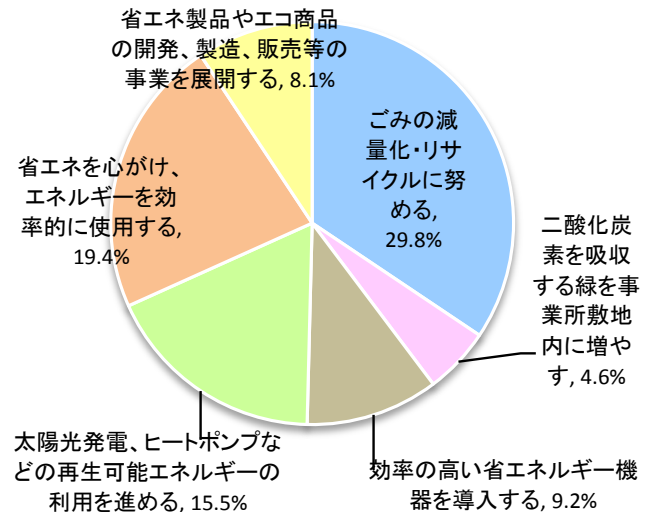


2) 温暖化防止に向けて事業者に期待すること

問 2) 地球温暖化防止のために、事業者に対して期待していることは何ですか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 375 人】

- 最も多いのが「ごみの減量化・リサイクルに努める」、次いで「省エネを心がけ、エネルギーを効率的に使用する」となっています。

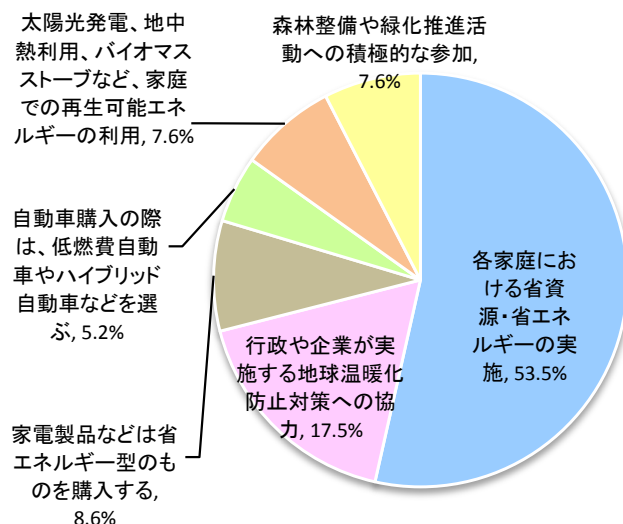


3) 温暖化防止に向けて市民が取り組むべきこと

問 3) 地球温暖化防止のために、市民が取り組むべきことは何だと思えますか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 383 人】

- 最も多いのが「各家庭における省資源・省エネルギーの実施」、次いで「行政や企業が実施する地球温暖化防止対策への協力」となっています。
- 一方で、最も少ないのが「自動車購入の際は、低燃費自動車やハイブリッド自動車などを選ぶ」「太陽光発電、地中熱利用、バイオマスストーブなど、家庭での再生可能エネルギーの利用」「森林整備や緑化推進活動への積極的な参加」となっています。



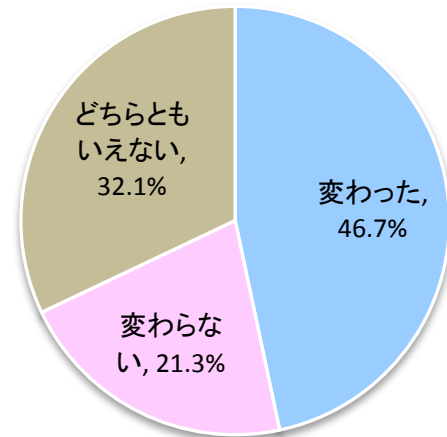
VI：エネルギーに関するあなたのお考えについておたずねします。

1) 東日本大震災以降のエネルギーに対する考え①

問 1) 東日本大震災の前後で、あなたのエネルギーに対するお考えは変わりましたか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 390 人】

- 「変わった」が最も多く、4割を占めています。

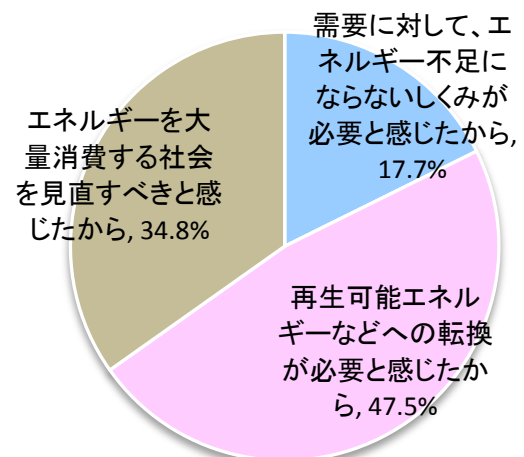


2) 東日本大震災以降のエネルギーに対する考え①

問 2) 前問で「1. 変わった」を選んだ方のみお答えください。あなたがそのようにお考えになる理由は何ですか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 181 人】

- 最も多いのが「再生可能エネルギーなどへの転換が必要と感じたから」、次いで「エネルギーを大量消費する社会を見直すべきと感じたから」となっています。

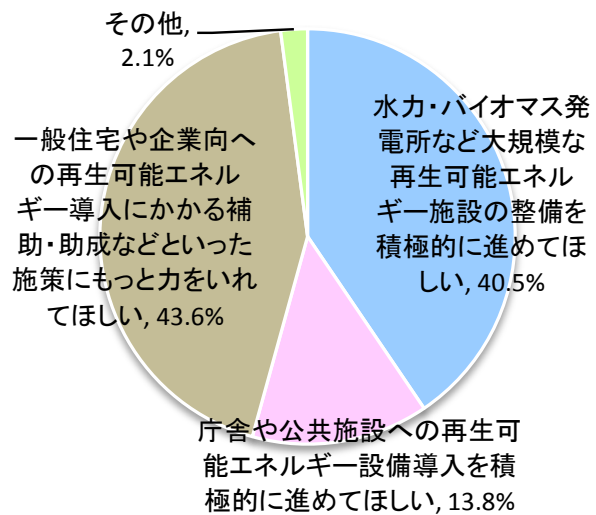


3) 再生可能エネルギー施策についての考え

問 3) 市では、低炭素・循環型社会を構築する取組として、太陽光、バイオマス、地中熱、水力などの再生可能エネルギー創出についての施策を進めています。このことについて、何を期待されますか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 385 人】

- 最も多いのが「一般住宅や企業向への再生可能エネルギー導入にかかる補助・助成などといった施策にもっと力をいれてほしい」、次いで「水力・バイオマス発電所など大規模な再生可能エネルギー施設の整備を積極的に進めてほしい」となっています。

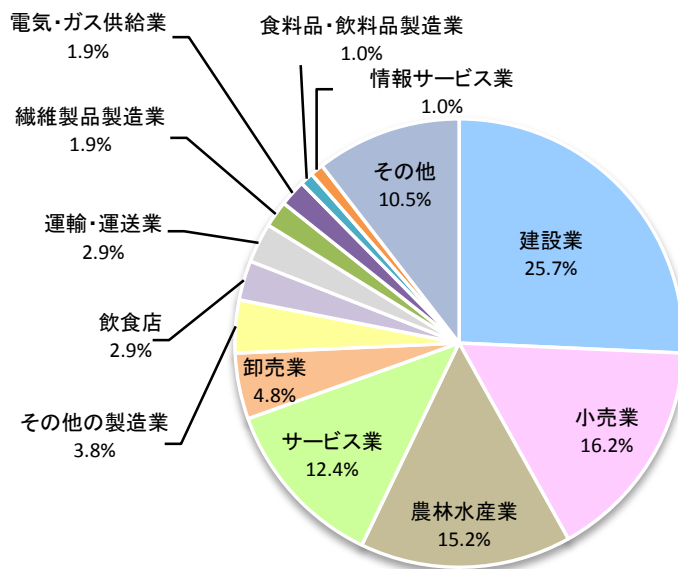


(3) 事業者意識調査の結果

I：貴事業所のことについておたずねします。

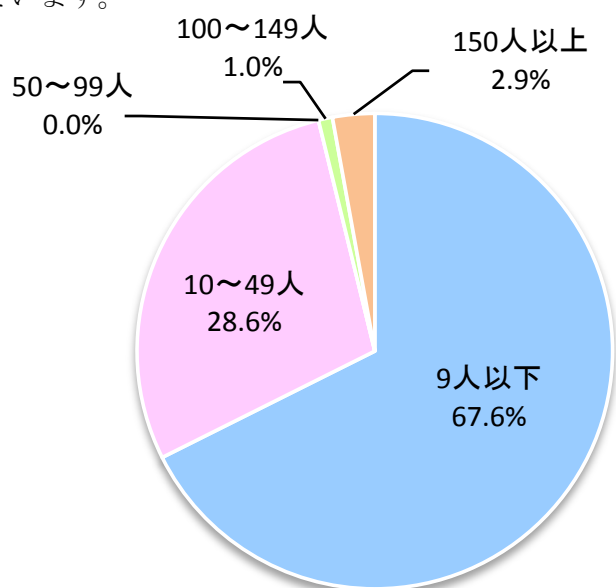
1) 業種

建設業が約 26%と最も多く、次いで小売業、農林水産業となっており、これらで全体の 6 割弱を占めています。



2) 従業員数

9人以下が全体の 7 割近くを占めています。



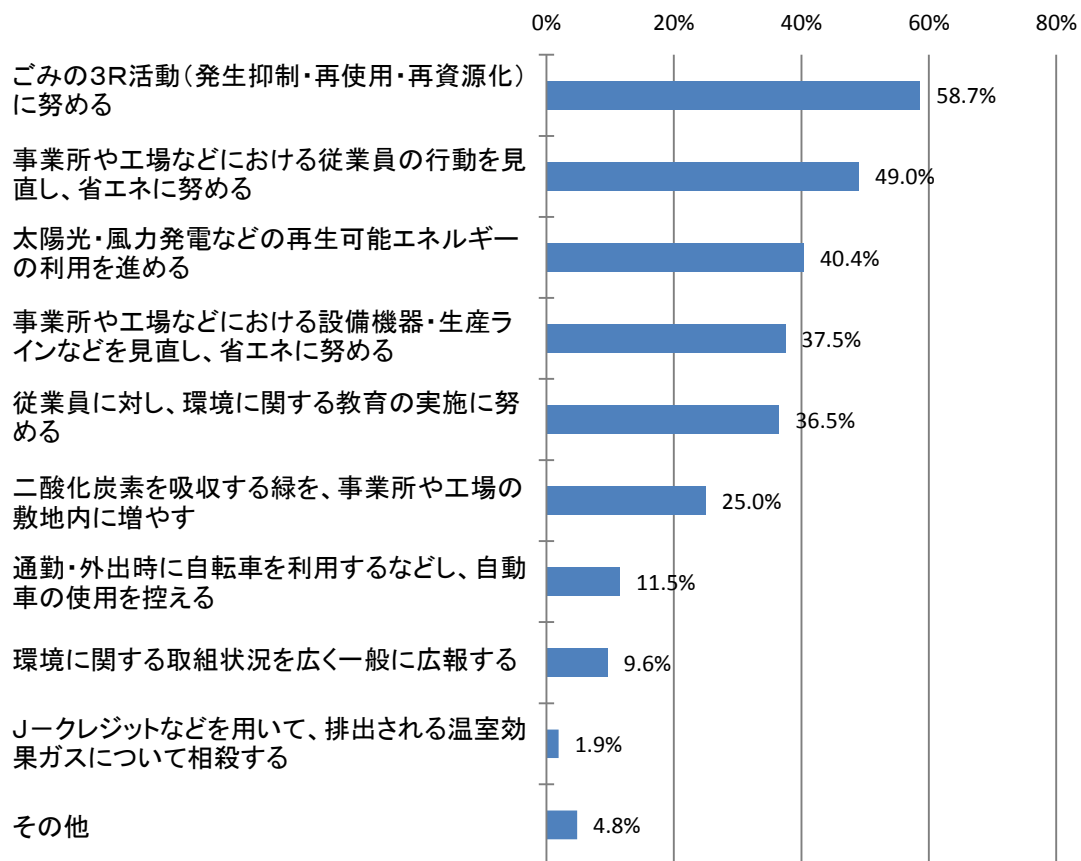
Ⅱ：貴事業所の地球温暖化対策に対する考え、状況についておたずねします。

1) 地球温暖化対策に事業者として必要な取組

問 1) 地球温暖化対策に向け、事業者としてどのような取組が必要だとお考えですか。
より必要だと考える番号を3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 104 社】

- 最も多いのが「ごみの3R活動（発生抑制・再使用・再資源化）に努める」となっており、次いで「事業所や工場などにおける従業員の行動を見直し、省エネに努める」「太陽光・風力発電などの再生可能エネルギーの利用を進める」となっています。

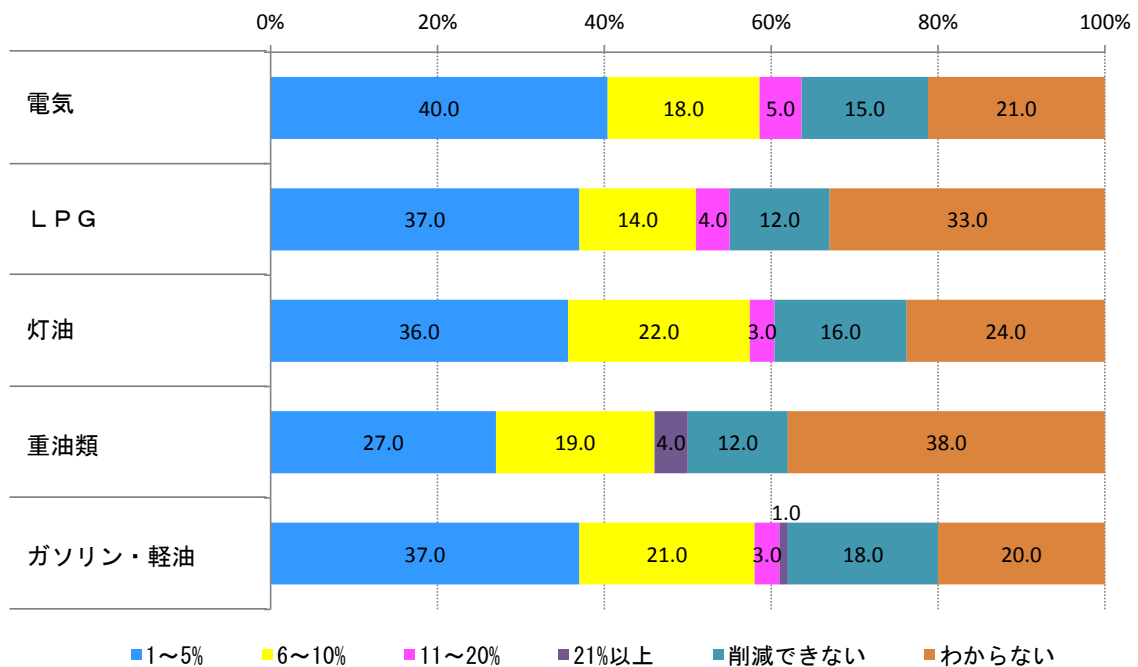


2) 貴社のエネルギー消費量の削減可能量

問 2) 貴事業所における電気、ガス、灯油などのエネルギー使用量について、今後5年間で省エネルギーに努めることによって可能と考えられる消費量の削減率について、貴事業所のお考えに最も近い番号を各項目（種類）それぞれ1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 26～98 社（設問によって異なる）】

- 削減が可能と回答している事業所の割合は、いずれのエネルギーも5割を占めており、特に「電気」「ガソリン・軽油」はその割合が高くなっています。
- 反対に、削減できないと回答した割合は12～18%となっています。

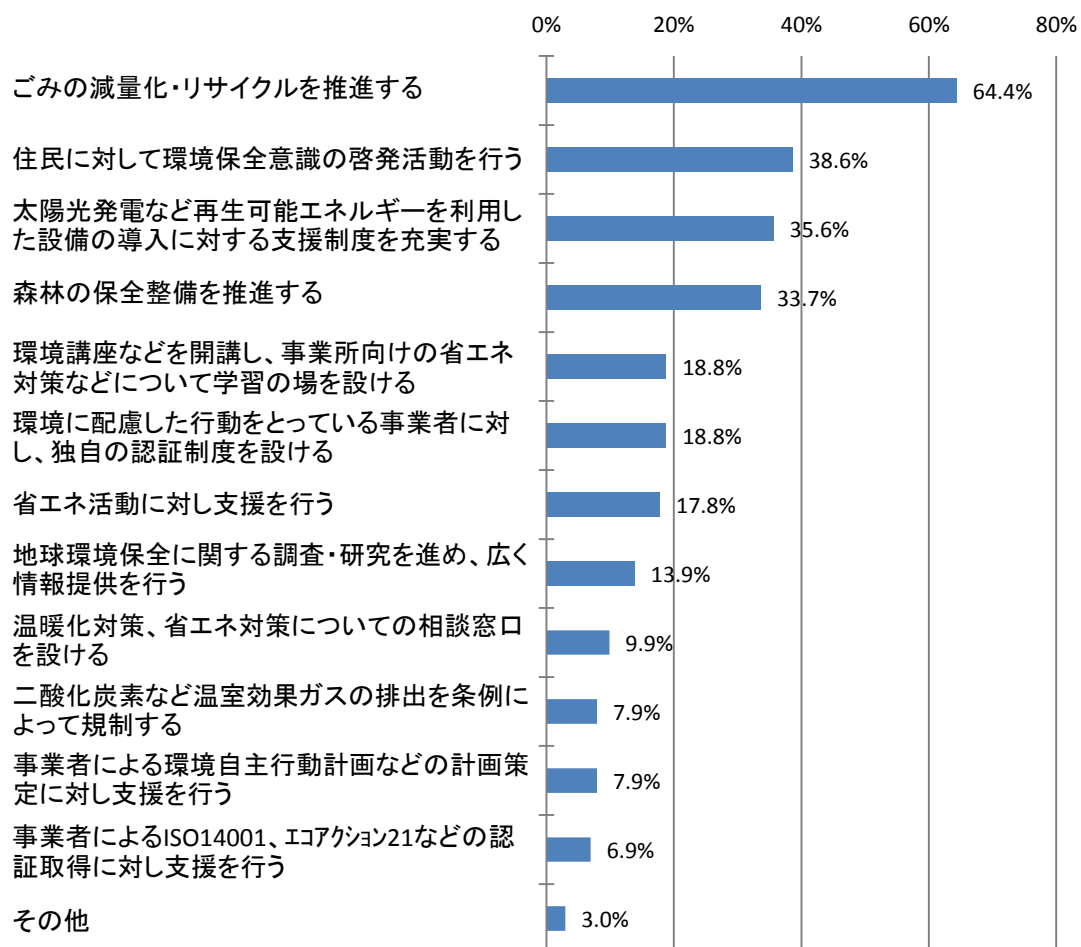


3) 地球温暖化対策に十日町市に期待する取組

問 3) 地球温暖化対策のために、貴事業所が十日町市に対して特に期待している施策はなんですか。最も当てはまる番号を3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 101 社】

- 最も多いのが「ごみの減量化・リサイクルを推進する」となっており、次いで「住民に対して環境保全意識の啓発活動を行う」「太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備の導入に対する支援制度を充実する」となっています。



4) 省・新エネルギー設備の導入状況

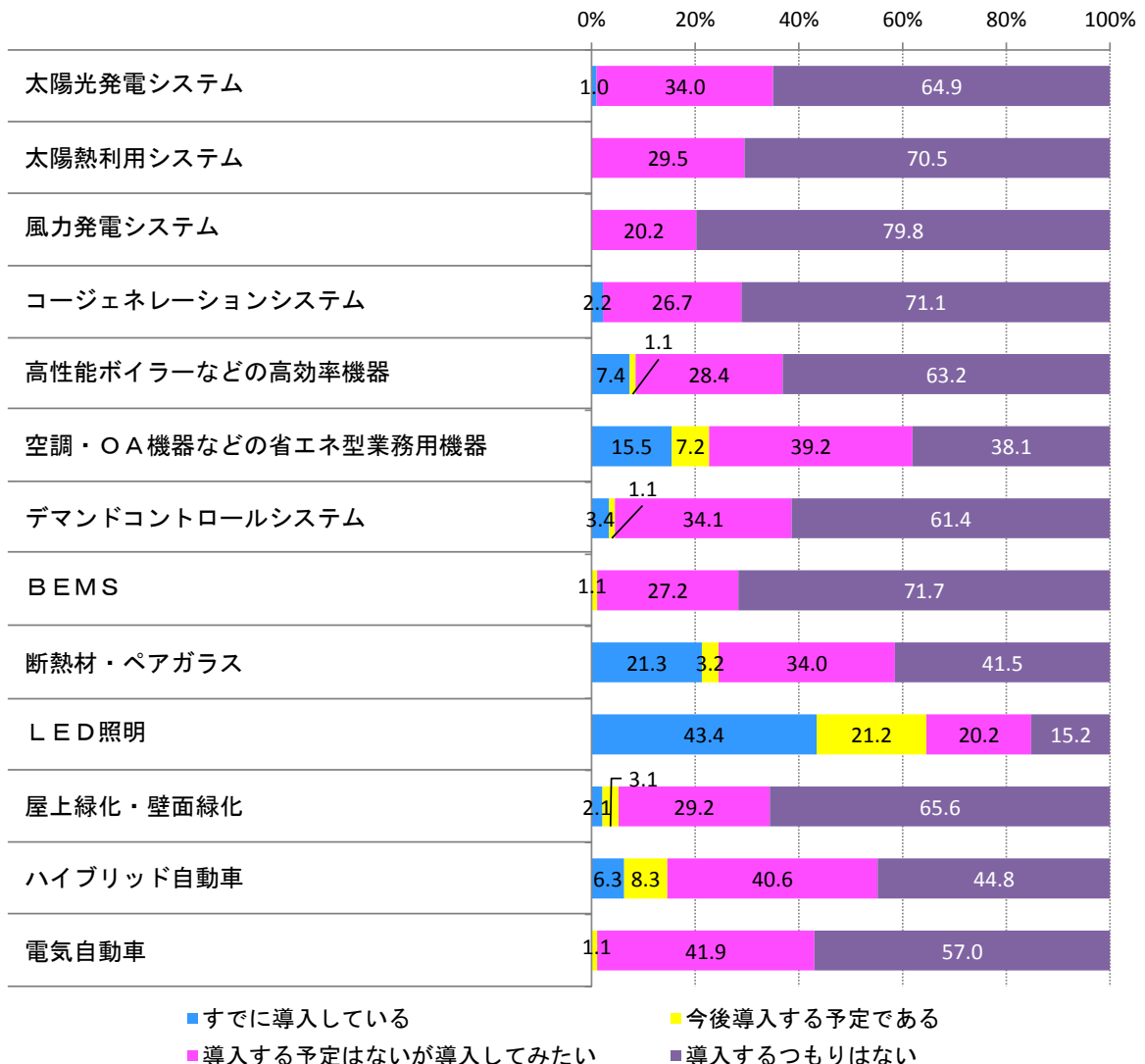
問 4) 貴事業所では、省エネルギーや新エネルギーを考慮した設備などを導入していますか。あてはまる番号を各項目それぞれ1つ選び、○をつけてください。

また、「4. 導入するつもりはない」と回答された場合は、その理由を下欄（A～G）から選び番号をご記入ください。

導入状況【有効回答 88～99 社（設問によって異なる）】
導入しない理由【有効回答 14～72 社（設問によって異なる）】

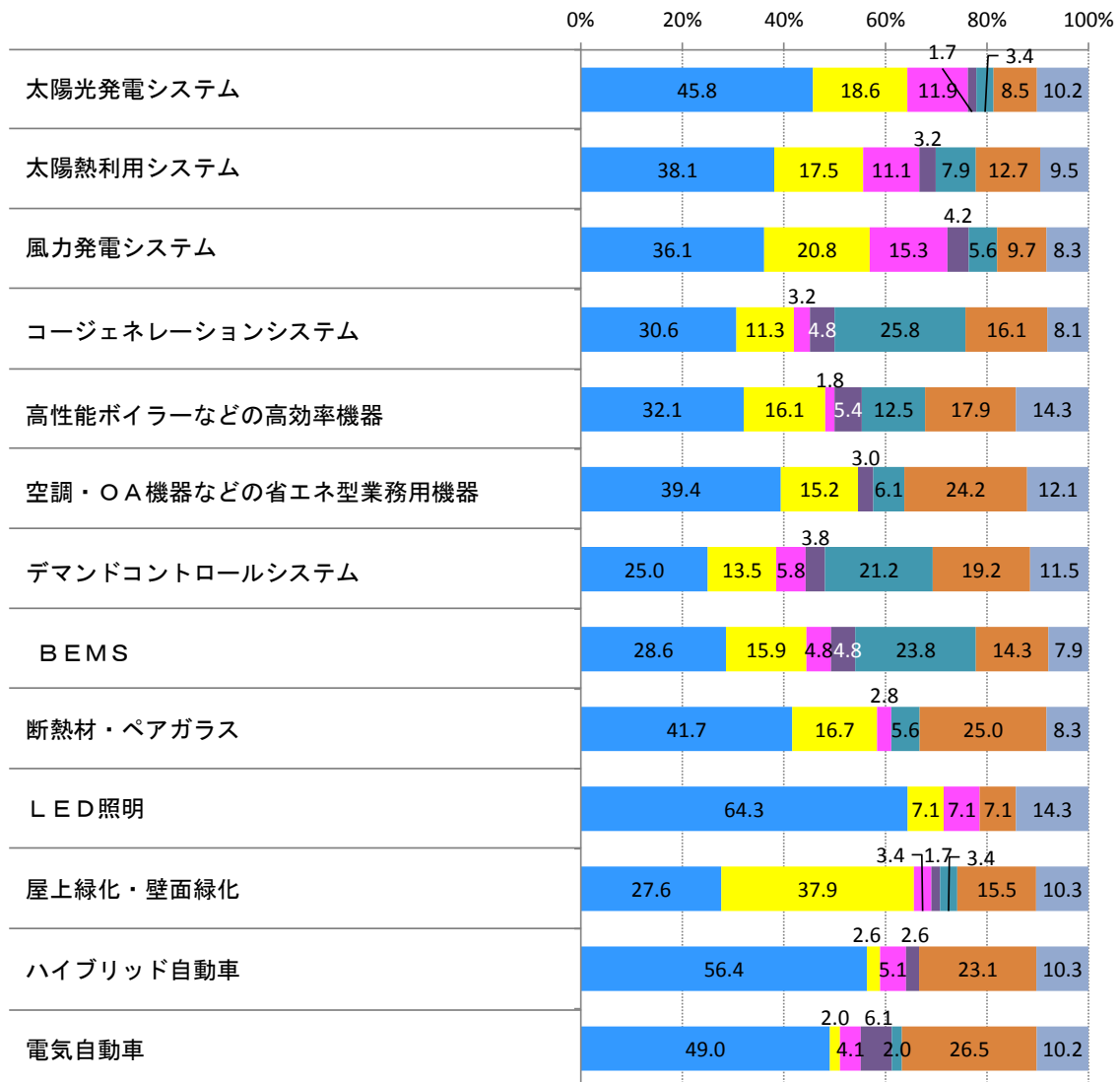
【導入状況】

- 「すでに導入している」が最も多いのは「LED照明」、次いで「断熱材・ペアガラス」となっています。
- 「今後導入する予定である」「導入する予定はないが導入してみたい」を合わせると、最も多いのは「ハイブリッド自動車」、次いで「空調・OA機器などの省エネ型業務用機器」「電気自動車」となっています。
- 「導入するつもりはない」が最も多いのは「風力発電システム」、次いで「BEMS」となっています。



【導入しない理由】

- 全般的に「費用負担が大きい」の割合が高くなっています。
- 「情報がない（よく知らない）」「特に理由はない」の割合が高いのは、「コージェネレーションシステム」「デマンドコントロールシステム」「BEMS」となっています。



- 費用負担が大きい
- 構造上導入できない
- 効果に疑問がある
- 機器を利用するための社会的基盤が整っていない
- 情報がない（よく知らない）
- 特に理由はない
- その他

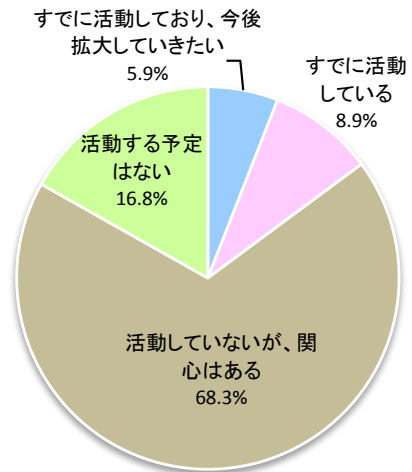
Ⅲ：温暖化対策における市民や行政との協働についての考えをおたずねします。

1) 住民・事業者・行政の連携について

問 1) 地球温暖化対策のためには、住民・事業者・行政の連携した取組や活動が必要となっています。このような取組や活動について、貴事業所があてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 101 社】

- 最も多いのが「活動していないが、関心はある」となっており、全体の7割を占めています。



3) 住民・事業者・行政の連携の取組への関心

問 3) 1) で「3. 活動していないが、関心はある」と回答された方にお聞きします。活動する場合、どのような取組に関心がありますか。貴事業所があてはまる番号を3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 94 社】

- 最も多いのが、「ごみや廃食油などのリサイクル活動への協力」となっており、次いで「敷地内および地域の緑化活動への参加」「地球温暖化対策に向けた活動への協力」となっています。

